

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第1回 所沢市行政経営推進委員会
開 催 日 時	平成30年5月16日(水) 午後6時00分から午後7時30分まで
開 催 場 所	市役所高層棟3階 301会議室
出 席 者 の 氏 名	石川 久、依田 素味、宇佐美 保政、清水 正幸、谷山 修一、 堀内 清則、加藤 剛毅
欠 席 者 の 氏 名	平岩 敏和
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 行政経営推進委員会のこれまでの内容と 今後のスケジュールについて (2) 提言の方向性について (3) その他
会 議 資 料	資料1 行政経営推進委員会のこれまでの内容と今後のスケジュール 資料2 提言の方向性 資料3 平成29年度(平成28年度決算)経費公表一覧
担 当 部 課 名	経営企画部長 平田 仁 経営企画部次長 林 誠 経営企画課長 市川 勝也 経営企画課主幹 吉川 泰央 経営企画課主査 松本 しのぶ 経営企画課主査 森 真太郎 経営企画課主任 木村 啓子 経営企画課主任 細谷 拓郎  経営企画部 経営企画課 電話：04-2998-9027

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>石川委員長司会のもと議事を進行。</p> <p>（1）行政経営推進委員会のこれまでの内容と今後のスケジュールについて</p> <p>提言の方向性を議論するにあたり、事務局より、資料 1 に基づき平成 29 年度全 4 回の議事内容の概要と各議事における委員の意見を報告した。</p> <p>本議事についての質問、確認はなかった。</p> <p>（2）提言の方向性について</p> <p>事務局より、資料 2 に基づき提言の位置づけや要件・手法等について説明を行った。</p> <p>第 4 回委員会にて提言書を提出すること、委員長を中心に構成・文面を検討していくことについて確認し、了承を得た。</p> <p>本議事についての意見や質疑応答は、以下の通り。</p> <p>所沢市をより魅力ある良い街にするためには、大胆な提言が必要と考える。各委員、提言に盛り込むべきと考える内容を自由に発言願いたい。</p>
委員	<p>施設経費の問題を盛り込みたい。30～40 年もの間、使用料を値上げしていないことは異常である。社会の物価上昇・インフレに伴いどうにか値上げすべきと考える。</p>
委員	<p>資料 3 の 34 施設において特に人件費率の高いまちづくりセンタ</p>

事務局	<p>一経費圧縮のため、更なる人員削減の余地はあるのか。</p> <p>現在の提供サービスメニューや業務委託範囲といった枠組み・体制のままで更なる人員削減は難しい。また、11センターの統廃合といった抜本策もハードルは高い。</p>
委員	<p>人員削減は努力してきたと思うので、今後は経費圧縮よりも収入増にシフトすべきだろう。修繕費等を単体収入で賄えないゆえに、一般財源によってカバーできない時が訪れれば、今後修繕すらままならない状況になっていく。</p>
委員長	<p>使用料・利用料の設定根拠もしくは考え方のようなものはあるのか。</p>
事務局	<p>数字の積み上げによって得たような設定根拠はない。近隣自治体との施設の相互利用に鑑み、バランスを踏まえた経緯もあるようだ。料金の見直しは当市のみならず、関係市との調整も求められることになる。</p>
委員	<p>たしかに他市とのバランスはあるだろう。そうした事情を踏まえると、やはり経費圧縮が検討対象と考える。これまでの行政改革の流れを踏襲するとすれば、経営資源の選択と集中によって、より必要な領域へヒト・カネをスライドしていくことが基本ではないか。</p>
委員	<p>他自治体とのバランスも重要だが、民間施設とのバランスを踏まえてもよいのではないか。</p>
委員	<p>民間とのバランスという観点なら、小手指のエバーとディアの団体に対する貸付料は近隣相場と比して安すぎると感じる。倉庫の賃料よりも安い。市の算定基準があるのだと思うが、市民感情的にはその基準が納得できないだろう。</p>
事務局	<p>当市の普通財産の貸付基準に基づいて設定しているため、近隣相場と比し安価となる。</p>

事務局	<p>施設の特성에合わせて料金を設定するといった対応もひとつの選択肢かもしれない。</p>
委員	<p>行政運営に経営感覚を入れて提言をまとめていくというスタンスは全委員一致していると思う。</p> <p>経営感覚という観点なら、まずは財政の健全化がターゲットになる。今後、大幅な税収増が見込めないとすれば、経費圧縮の方向性での提言にならざるを得ない。事務局の考える圧縮ポイントに対し我々の考えを示すか、もしくは、間接的な経費圧縮として生産性を上げるための意識改革やモチベーション向上策の観点から考えを示すか、どういった方向性で提言していくべきかを検討していきたい。</p>
委員長	<p>財政健全化の観点ならば、最優先は公共施設のあり方だろう。一斉に迎える大規模修繕タイミングの経費をどのように捻出するか。予め蓄えておくのか、千葉のように施設の延命化によって修繕タイミングそのものをずらすのか。</p> <p>「何年間で施設の床面積を何%にする」「施設運営経費に対し何%は単体収入で確保する」などの目標が必要である。そうした目標が達成困難ならば、公民館を閉じるといった選択をしなければならない。</p> <p>公民館の存在によって地域文化の高水準が保たれるとの考えで公民館を守りたいという人々もいるが、因果関係は認められない。東京都武蔵野市に公民館は存在しないが、それをもって同市の文化水準が低いことにはならない。</p> <p>全ての地域にすべからく公民館機能を備えずとも、中央公民館に一元化したり、看板としての公民館は維持しながら民間委託化など運営方法や体制を見直すなど、やり方は色々あると考える。</p>
委員	<p>経費圧縮というマイナス方向のみならず、人材の強化、職員一人ひとりのパフォーマンス向上、業務フロー／プロセスの見直しなど、結果的に市民サービス向上につながるプラス方向の提言も盛り込みたい。</p>
委員	<p>人員はまだ削減できるのか。</p>

事務局	<p>ピンポイントでの削減提言への対応は難しいが、全体調整のうえでトータル的に対応することについては、検討余地がある。</p>
委員	<p>民間企業は給与カットによる人件費圧縮も可能だが、自治体ではやはり難しいか。</p>
事務局	<p>直接的な給与カットという選択肢は難しい。先ほどの回答と重なるが、定員管理（人員削減）の面では検討は可能である。</p>
委員	<p>既存業務フロー／プロセスの見直しによって人員配置を見直し、必要な部署へシフトすることが、今の時代に求められていることだと思う。</p>
委員	<p>これまでの各委員のご発言を踏まえれば、財政の適正化、職員の生産性向上と再配置、ハコモノの削減、いわゆるヒト・モノ・カネのカテゴリごとに提言をまとめるのが相応しいと考える。</p> <p>そして、あれもこれもと漫然と提言するよりも、各カテゴリ内でこれぞというトピックスに絞って提言すべきと思う。</p>
副委員長	<p>現枠組みの範囲で所沢市が整理・工夫は推進してきていると感じている。それ故、今の考え方や仕組みを前提に提言しようとしても限界があるだろう。</p> <p>今後、大きな変化を遂げたいと考えているなら、法的な制約がない範囲で、ボトルネックになっている部分にフォーカスしたドラスティックな提言を差し上げるべきだと思うが、果たして、それが当委員会に求められていることなのか、迷いはある。</p>
事務局	<p>前提条件に拘らない、根底部分に対する提言も含め、お願いしたい。</p>
委員長	<p>過去の歴史によって“こうあるべき”“こうでなければならない”といった思い込みに支配されている思考がある部分は、抜本から変えていかないと、これからの自治体経営は立ち行かないと考える。そうした提言にすべきだと思っている。</p>

<p>委員</p>	<p>今後の市の人口構成予測をしっかりと捉えて、財政圧迫の一因である医療や民生費をどのようにコントロールしてピークをおさえるか。何かしら高齢者サービスの開始年齢を遅らせていくとか、年金のマクロ経済スライドのようにサービスレベルの調整策を講じるとか、抜本から仕組みを工夫しないと、現状のような微増微減主義的な財政のやりくりでは早晚行き詰ると感じている。</p> <p>一方で、所沢市に住んでみたい、住み続けたいと思う人がより多くなるような所沢市のブランド化を図る魅力発信も重要。</p> <p>上田知事は「埼玉県は日本の縮図」と言っているが、所沢市は埼玉の縮図のような街だと思う。所沢発の取組みが他自治体のモデルになるくらいの気概があってもよい。</p>
<p>委員長</p>	<p>本日の議論を踏まえ、ヒト・モノ・カネ・情報のカテゴリごとに所沢市が強化すべきポイントにフォーカスして提言することで今後の検討を進めていくこととする。</p> <p>次回会議までに、各委員が、4つのカテゴリごとに課題提起や課題解消のための戦略を講じてくることをお願いしたい。なお、支出削減方向のみならず、業務効率化や職員モチベーション向上、人員再配置など創意工夫観点も踏まえていただきたい。</p> <p>(3) その他</p>
<p>委員</p>	<p>市全体としての貸借対照表を見たい。現在は債務超過の状態ではないのか。</p>
<p>委員長</p>	<p>健全化判断比率上、所沢市は問題ない水準と認識している。自治体運営の特性（資産を売却できない／しない）があり、所沢市のみならず全自治体が、一定の見方をすれば債務超過状態となってしまう。</p>
<p>委員</p>	<p>損益計算書上では、赤字だろう。倒産するというリスクがないのか、民間企業感覚では理解に苦しむ。</p>

<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>現状、毎年苦しみながらも、何とか単年度予算が編成できている状況ではある。</p> <p>生産年齢人口の減少で市民税収入も連動するし、路線価が上昇しなければ固定資産税収入増も見込めない。こうした構造にあることを認識する必要がある。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>次回までの ToDo 等まとめ</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 各委員がカテゴリ別（ヒト・モノ・カネ・情報）に課題提起とその解決策案を検討する。</li> <li>② 委員検討にあたり必要なデータがあれば求めに応じ事務局が提供する。</li> <li>③ 第2回委員会の開催候補日を事務局から各委員へEメールにて提示する。</li> </ol>